

環境調査結果のお知らせ

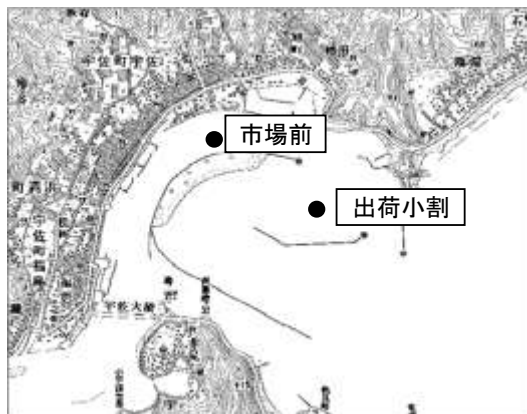
本日、宇佐漁港周辺のプロプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で49cells/ml、シャットネラ属が最高で2cells/ml認められました。デイクチオカ・フィビュラは認められませんでした。

浦ノ内湾内は、カレニア・ミキモトイは光松と大鹿の各定点で細胞密度が被害の想定されるレベル、シャットネラ属は中学校前、目ノクソ、光松、大鹿の各定点で細胞密度が被害の想定されるレベルになっており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。
慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	デイクチオカ・フィビュラ
市場前	0m	10	0	0
	2m	18	0	0
	5m	42	2	0
出荷小割	0m	6	0	0
	2m	9	0	0
	5m	49	2	0
(参考) 目ノクソ	0m	0	0	0
	2m	1	23	1
	5m	0	190	0
(参考) 光松	0m	1	0	0
	2m	560	5	0
	5m	300	130	0
(参考) 水試小割前	0m	4	0	0
	2m	14	0	0
	5m	220	9	1



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・デイクチオカ・フィビュラ(魚類のへい死):
赤潮発生時